

米韓合同軍事演習中止を求める日本からの緊急共同声明

2016年4月5日

(1) 昨年、米韓連合軍司令部は「作戦計画 5015」を策定し、3月7日から米韓軍 30 数万人を動員して開始された史上最大の米韓合同軍事演習「キーリゾルブ」「フォールイーグル」に本格的に適用しています。この新たな作戦計画は、ピョンヤン制圧まで想定したこれまでの「作戦計画 5027」に加え、朝鮮半島における全面的な戦争に至る前の段階から、局地戦への軍事的対応計画を盛り込み、また朝鮮民主主義人民共和国(以下、朝鮮)の核・ミサイルの発射の「兆候」が見られた段階でこれに対する先制攻撃計画や、侵攻部隊による朝鮮指導者への「斬首作戦」まで織り込まれているとされています。この演習こそ最大の軍事挑発でなくて何でしょうか。

この米韓連合軍による新たな先制攻撃戦略に、日本政府による集団的自衛権行使容認、改定された日米防衛協力指針(ガイドライン)、安保法制(戦争法)制定後の自衛隊が関わってくることは明らかです。私たちは、日米韓軍事同盟に強く反対します。

こうした状況を朝鮮政府が重大な脅威と感じていることは明らかです。この中で、1月6日、朝鮮政府は自ら「自衛処置」とする「水爆実験」を実施しました。また2月7日に朝鮮が実施した人工衛星打ち上げを「事実上の弾道ミサイル発射」と称して、米日韓や国連安保理による対朝鮮「制裁」が繰り返されています。

米国は、ここぞとばかりに B2 ステルス戦略爆撃機やステルス戦闘機、空母機動部隊や原潜を朝鮮半島に派遣するなど軍事的圧力を強めています。佐世保の強襲揚陸艦に普天間や岩国の海兵隊部隊をはじめ在日米軍も投入されています。また、中国政府も強く反対している高高度迎撃ミサイルシステム(THAAD)の韓国配備も推し進めようとしています。

私たちは、これらの危険な動向の一切が、朝鮮半島の平和と東アジアの平和の道に背くものであることを強く指摘し、米韓合同軍事演習の即時中止を求めます。

(2) この間、米国政府は「戦略的忍耐」と称する対朝鮮政策で、2005年9月19日の6か国共同声明にも背き「先核放棄」を唱えて対話を拒否し、事実上の軍事的圧力の強化と「制裁」一辺倒政策をとり続けています。しかし、この結果生み出されているのは核問題の解決とは反対に朝鮮の核開発の高度化と対立の激化だけです。王毅・中国外相が朝鮮半島の平和協定締結と核問題解決の同時進行に言及し始めていることは妥当性があります。

朝鮮半島における軍事的緊張の根源は何でしょうか。それは朝鮮半島が63年にも及び「撃ち方やめ」に過ぎない休戦状態のまま放置され続けていることです。

休戦協定締結後も米国政府は、朝鮮半島における唯一の外国軍隊として駐韓米軍を居すわらせ、1950年代後半からは大量の戦術核兵器を大韓民国(以下、韓国)に持ち込み、大規模軍事演習を繰り返して絶えず軍事緊張を高めてきました。90年代に入り、地上核の撤去が表明されましたが(それも検証されていません)、空軍戦力、原潜など海軍戦力による核攻撃態勢はそのままです。そして6か国協議が開催されている時期にも大規模軍事演習は繰り返されてきました。そして、今の状況と続いているのです。

(3) このような状態が 63 年にも渡り続いていることこそ異常なことではないでしょうか。

今求められているのは、朝鮮半島の休戦状態に終止符を打ち、当事国である米朝両国を中心とした平和協定締結に向かうことです。それこそが朝鮮半島における核問題解決の近道でもあります。

米国政府が、朝鮮政府と対話により、平和協定締結の道を進むよう強く求めるものです。

私たちは、かつての朝鮮侵略・植民地支配とその結果生み出された朝鮮半島の南北分断に対する日本の戦後責任を踏まえ、日本政府が広範な日本民衆の反対の声を無視して強行採決した戦争法を廃止し、東アジアの一員として、東アジアの平和のために日米韓軍事同盟に反対し、朝鮮半島の平和協定締結を後押しするよう日本政府にも強く求めて行くものです。

1、米韓連合軍は大規模軍事演習を中止せよ！

2、米国政府は朝鮮政府と対話し、休戦状態を終結させ平和協定を締結せよ！

3、米日韓軍事同盟反対！

日韓民衆連帯全国ネットワーク、ピース・ボート、「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター (VAWW RAC)、反安保実行委員会、許すな！憲法改悪・市民連絡会、在日韓国民民主統一連合、フォーラム平和・人権・環境、樹花舎、全港湾労組関西地方大阪支部、不戦へのネットワーク、日韓平和連帯、みんなのまちの人権図書館「猪飼野セツパラム文庫」、労働運動活動者評議会、Little Hands、東北アジア情報センター(広島)、かながわ平和憲法を守る会、福岡地区合同労組、宗教者平和の会・今治、自由空間創楽邑、平和・人権・環境を守る岐阜県市民の会、Attac東海、日朝国交正常化をすすめる神奈川県民の会、在日韓国青年同盟、在日韓国民民主女性会、在日韓国人学生協議会、ABC 企画委員会、戦争をさせない 1000 人委員会・静岡、映画「侵略」上映委員会、ストップ秘密保護法かながわ、NO！AWACS の会・浜松、「韓国併合 100 年」東海行動実行委員会、ふえみん婦人民主クラブ、憲法を生かす会東京連絡会、アジェンダ・プロジェクト編集部、アイ女性会議・京都、真宗遺族会、民族教育の未来を考える・ネットワーク広島、神戸国際キリスト教会、PEACE □ WEST WOMEN、日本基督教団西中国教区基地問題特別委員会、住民投票の成果を活かす岩国市民の会、全国労働組合連絡協議会(全労協)、沖縄文化講座、ビデオプレス、本郷文化フォーラムワーカーズスクール(HOWS)、立川自衛隊監視テント村、対話で平和を！日朝関係を考える神戸ネットワーク、KOBEPeaceネット、志太憲法を大切にしよう会、ピース・ニュース、朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会、反天皇制運動連絡会、ピースリンク広島・呉・岩国、朝鮮女性と連帯する宮城女性の会、朝鮮学校生徒を守るリボンの会、9 条の会・おおがき、三多摩日朝女性をつどい、かながわ朝鮮女性と連帯する会、朝鮮・韓国の女性と連帯する埼玉の会、I 女性会議千葉県本部、戦後 70 年・新しい東アジアへの一歩へ！市民連帯(東アジア市民連帯)、劣化ウラン研究会、ノレの会、戦争協力に NO！葛飾ネットワーク、新社会党朝鮮半島問題プロジェクトチーム、朝鮮女性と連帯する北海道の会、韓国良心囚を支援する会全国会議、日本軍「慰安婦」被害女性と共に歩む大阪・神戸・阪神連絡会、日朝学術教育交流協会 <在外団体>ピース・フィロソフィー・センター(カナダ)、モントリオール9条の会、トロント9条の会有志 (72 団体・順不同)